

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

提言要旨	1
はじめに	2
■ 第1章 現状と課題	
1 南島原市の概要	2
2 南島原市の人口の動き	4
(1) 減少する市の人口	
(2) 加速する若者離れと少子高齢化	
(3) 小学校の現状と児童数の推移	
3 地域コミュニティの希薄化	6
(1) 国の動向	
(2) 南島原市の動向	
4 課題	8
 【参考事例】	9
山梨県北杜市「三代校舎 ふれあいの里」	
長崎県大村市「おおむら夢ファーム シュシュ」	
 ■ 第2章 施策提言	
1 活用する廃校施設の設定	10
2 施設の運営	10
3 施策イメージ図	11
4 ヒトの駅での具体的な取組	12
(1) 提言1 「団塊世代を中心とした地域の人材活用」	12
～ヒトとヒトとのつながりによる地域の拠点づくり～	
(2) 提言2 「6次産業化による地域資源の活用」	13
～1次・2次・3次産業のつながりによる6次産業化の推進～	
 おわりに	14

廃校施設を活用した地域コミュニティの活性化

～南島原市の持続的なヒトツナガリ～

現状

- ◆豊かな地域資源があるにも関わらず、それが活かされていない。
- ◆少子高齢化により廃校施設が増加し、地域の核が無くなっている。
- ◆住民が気軽に集える場所と参加のきっかけが不足している。

課題

- 地域資源（人的・物的）の活用
- 廃校施設の有効活用
- 地域コミュニティの活性化

参考事例

山梨県北杜市「三代校舎 ふれあいの里」
長崎県大村市「おおむら夢ファーム シュシュ」

施策提言

廃校施設を、地域コミュニティの拠点「ヒトの駅」として再生

「ヒトの駅」を拠点とした

“ヒト”づくり

持続可能な

“ツナガリ”づくり

提言1

「団塊世代を中心とした
地域の人材活用」

- ヒトとヒトとのつながり
による地域の拠点づくり

提言2

「6次産業化による
地域資源の活用」

- 1次・2次・3次産業
のつながりによる6次
産業化の推進